

日本国憲法 教育基本法 学校教育法
学習指導要領 県・市教育行政重点施策

平成31年度三河小学校スクールプラン 学校教育目標



〈知〉 全国学力学習調査・標準学力調査ともに、全体として全国平均より高い。与えられた課題を解く力、基本的な知識・技能はよく身につけている。しかし、広い情報から読み解いたり、根拠を明確にして分かりやすく伝えたりして交流を通して自ら問い深く考える力が弱い。

〈徳〉 自尊感情の高い子どもが増えている。反面、他者を受け入れ相手のことを考えた言動が十分育っていない。

〈体〉 運動能力は、全国平均よりやや上回っている。難しいことは避ける傾向があり、挑戦意欲がやや低い。

福岡県教育施策実施計画
～福岡県独自の指導方法『鍛ほめ福岡メソッド』の展開～
Ⅰ学力、体力、豊かな子心の育成Ⅱ社会にはばたく力の育成
Ⅲ郷土と日本、世界を知る力の育成Ⅳ生涯学習社会推進
Ⅴ文化の振興 Ⅵスポーツの振興 Ⅶ人権尊重

八女市教育大綱(5カ年)
～地域に信頼される学校づくりへ向けて～
重点1 教育内容の充実
重点2 教育環境の整備・充実
重点3 人権・同和教育及び啓発活動の推進

めざす子ども像

よく考える子 仲よく明るい子 強く生きる子

学校教育目標

三河を愛し、生きる力を身に付け
自ら未来を切り拓くことができる子どもの育成

【重点目標】楽しく学び合う子どもの育成

目指す教師像

子どもの可能性を最大限に伸ばすチーム

- 子どもへの教育愛(人間教育の手本)
- 授業改善し続ける教師(高い授業力)
- 風通しのよい働きがいのある職員集団(協働できる集団)

目指す学校像

地域とともに歩み、新時代を生き抜く子どもを育てる学校

- 確かな学力の向上
- 豊かな人間関係の醸成
- 心身のたくましさの育成
- 家庭・地域との連携

三河小プリンシプル(6年間の学びで一人一人の子どもの可能性を最大に伸ばす組織的な取組)

- ・学力向上検証サイクルによる教育活動の充実
- ・全校一斉の朝の活動、読書タイム等の充実
- ・単元を見通した問題解決過程の学び方の習得・活用

小中連携教育 一南中・上妻小・三河小と共に一

- ・確かな学力を9カ年で身に付ける授業改善
- ・小中連携した学習基盤づくり、学習習慣づくり等
- ・生徒指導、特別支援教育、人権・同和教育・部落問題学習の充実
- ※三河保育園との連携教育(半協働栽培体験、クラブ発表等)

地域・家庭とともに歩む～コミュニティスクール～

- 地域の教育力で子どもたちを育成
- ・教育課程の承認
- ・地域ボランティア 一読み聞かせ等
- ・学習への協力 一家庭科お助け隊、地域探検隊等
- ・安全な地域生活 一登下校の見守り隊、子ども110番等

情報発信「情報提供で信頼構築へ」

- ・HPの活性化と充実
- ・三河小キューブ連絡網
- 一自然災害時の情報発信・校外学習時の情報発信一

子どもの可能性を鍛えて、褒めて、伸ばす教育の充実

- ① 確かな学力の向上めざす主体的な学び
 - 三河小問題解決過程の学び方の徹底
 - ・3年以上「まなブック」活用
 - 単元を見通したメリハリのある授業実践の積み上げ
 - 本を読む楽しさ体験の充実
- ② 豊かな人間関係を醸成する教育活動
 - 学級力向上プロジェクトによる学級づくり
 - 児童理解を基盤とした共感の人間関係づくり
 - 授業における生徒指導の充実(三つの機能・学習規律)
- ③ 心身のたくましさ育てる教育活動の推進
 - 学習規律の定着
 - 行事等の心身を鍛える豊かな体験活動の位置づけ
- ④ 教育環境による心の教育の醸成
 - 挨拶と理由を添えて伝える言葉を大切にした日常の関わり
 - 一人一人を大切にする教室環境等の整備(作品コメント、整理整頓)
 - 奉仕の精神を育みみんなが幸せになる掃除の徹底

国語科を核とした楽しく「学び合う」授業の構築

- ・年間2回の研究授業による継続的・組織的な研修の充実(模擬授業・ワークショップ型研修)
- ・単元を見通したメリハリのある問題解決学習の定着
- ・深い教材研究に基づいた授業実践の積み上げ
- ・主体的・対話的・深い学びの実現に向けた授業実践

正しい認識形成と主体性の基盤づくり

道徳科による認識形成
自分事として考える
インプット

- 問題解決型の学習過程
- ・問題を顕在化させためあてづくり
- ・表現ツールを活用し自他の考えの可視化
- ・段階的な話し合い活動
- ・自己内対話ふりかえり

関連

学級活動・児童会活動等による
実践力の形成
実践して学ぶ
アウトプット

- 折り合いを重視した話し合い活動を通した共通実践
- ・話し合いの手順の習得
- ・適切な役割分担
- ・折り合いの視点
- ・共通実践事項の決定

郷土愛を育む教育活動

- 「八女ふる里学」を活用した総合的な学習の時間の充実
 - ・坂本繁二郎アトリエ清掃等
- 地の利(人・もの・こと)を生かした教育活動の推進

人材育成(OJT研修で具体的スキルの習得)

命の教育の推進

安全・安心な学校の基盤

- ・人権尊重の視点に立った教育活動の推進
- ・不登校0「勇者の旅プログラム」5, 6年生(8時間)
- ・学校環境の安全確保(安全点検・危機管理マニュアル等)
- ・6年間を見通した保健安全指導の徹底(・自然災害・防災教育・食物アレルギー対応・不審者対応への取り組み等)